

保護者の皆様へ

能開センター

『新小1アドバンス講座』のご案内

拝啓 平素は私どもの教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

また、皆様方におかれましては、目前の私立小学校入試・国立小入試に向けて余念なくご準備に邁進されておられることと拝察いたします。

さて、早速ではございますが、能開センター（中学受験専門館）におきましては、**10月中旬より、『新小1アドバンス講座』を開講いたします**ので、ここにご案内いたします。

この講座は**早急な先取り学習による優位性を取得していくものではなく、「中高学年まで伸び続ける力を育成する」能開センターの低学年指導の理念に根ざした**ものです。

小学校入学後のお子様が、主体的に様々な概念を身につけ、原理原則を理解・活用する力を育成することや、経験に左右されることなく、初めて向き合う単元や問題にも積極的に取り組める力を育成することを目的としています。

本紙次項より、詳しいご説明を記載しておりますので、何卒ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

敬具



❖ 能開センターの『新小1アドバンス講座』の特徴 ❖

特徴① ターム①・②・④・⑥が「**能力開発型**」の講座、ターム③・⑤が「**教科学習型**」の講座となっています。

特徴② 「能力開発型」講座では、算数での立式経験や、国語での筆記解答の経験がなくても、無理なく教科学習につながる学習をおこないます。

また、**各回が独立した内容**になっておりますので、過去の講座にご参加でなくとも次回のご参加に影響はありません。

特徴③ 「教科学習型」講座では、算国とも**正しい概念構築を徹底**します。

〔算数〕10までの数しか扱いませんが、文章題を5型に分類し、然るべき順序で学習することで、たし算・ひき算の正しい概念を構築します。また、つまずきがどの段階にあるかを明らかにすることも可能です。

図形学習においては、「見たままを答える」のではなく、「定義に合うものを探す」という図形に対する見方そのものを変えていきます。

〔国語〕まずは文章の読み方そのものを学びます。これまで音読してもらい聞き取ることが多かったお子様方が、自ら読み取っていくのは、大きな行動変化です。物語文を用いた読解演習にて、「場面理解」「会話理解」「心情理解」の3分野それぞれに集中して学習することで視点を変化させ、自分なりの物語の理解から客観的理解の第一歩を踏み出すことを目的とします。

お問い合わせは……

(受付 14:00~20:00)

能開センター上本町校 〒543-0001 大阪市天王寺区上本町 6-9-17 上六日光ビル 3階
☎ 06-6770-7007

能開センター堺東校 〒590-0028 堺市堺区三国ヶ丘御幸通 154 ジョルノビル 301-1
☎ 072-222-1805

❖ 『新小1アドバンス講座』日程とカリキュラム ❖

ターム	実施日		時間	科目	内容
①	10/15	土	11:00-11:50	国語	ことばの 카테고리
	10/22	土	11:00-11:50	算数	数の操作 集合数と順序数
②	11/5	土	11:00-11:50	国語	文作りの基本
	11/19	土	11:00-11:50	算数	図形の注視力
③	12/3	土	10:00-10:50	算数	算数 はじめての計算 たし算とひき算
			11:00-11:50	国語	国語 なまえのことば うごきのことば
	12/10	土	10:00-10:50	算数	算数 くらべてみよう 長さ 面積 体積
11:00-11:50			国語	国語 ようすのことば かぎかっこ	
12/17	土	10:00-10:50	算数	算数 形のふしぎ 平面図形 立体図形	
		11:00-11:50	国語	国語 くつつきことば くとうてん	
④	1/21	土	11:00-11:50	算数	マトリクスと数式パズル
	1/28	土	11:00-11:50	算数	同じ数・同じ形にわけてみよう
⑤	2/4	土	10:00-10:50	算数	算数 たし算と文章題 合併と添加の違い
			11:00-11:50	国語	国語 正しい表記 物語文読解・場面
	2/18	土	10:00-10:50	算数	算数 ひき算と文章題 求残・求補・求差
11:00-11:50			国語	国語 ことばをつなぐ 物語文読解・会話	
2/25	土	10:00-10:50	算数	算数 図形の定義 長さとおさの捉え方	
		11:00-11:50	国語	国語 同音同訓のことば 物語文読解・心情	
⑥	3/4	土	11:00-11:50	算数	条件把握と並べ方
	3/11	土	11:00-11:50	国語	すごろくをつくろう

(注) 学力診断テストを、ご都合の良い日に1回受験してください。

❖ 費用とお申込み方法 ❖

(1) 費用

教材費込

ターム	授業回数	時間数	費用
① ・ ② ・ ④ ・ ⑥	1タームにつき 各2回	50分×2日 100分	1タームにつき 4,400円(税込)
③ ・ ⑤	1タームにつき 各3回	(50分+50分)×3日 300分	1タームにつき 9,900円(税込)

(注) ご欠席分のご返金はできません。ご了承ください。

(2) お申込み方法

別紙のお申込書に必要事項をご記入・ご署名の上、能開センター受付にご提出ください。

- ①ご参加されるタームに、○印をおつけください。
- ②お電話でも受付はさせていただきますが、お申込書の提出をもって正式なお申込みとさせていただきます。定員に達した場合、お申込書の提出をされているお子様が優先となりますので、予めご了承ください。

(3) 受講資格

この講座の受講資格はございません。

※4月から始まる本科授業につきましては受講資格が必要です。学力診断テストを受験してください。

❖ 持ち物 ❖

- ① えんぴつ（六角型推奨）
- ② けしごむ
- ③ 赤鉛筆
- ④ 上靴
- ⑤ 水筒（お茶）※任意

教材は全て当日のお渡しとなります。書き込み式ですので、ノートは不要です。

❖ 授業後の説明会について ❖

各授業のあとに、保護者の皆様対象の説明会を実施いたします。

内容は当日のテーマのねらい、お子様方の反応やご様子、ご家庭で復習される場合のポイント等について、約20分間ご説明をさせていただきます。

説明会中、お子様方は学習しながら待機していただきます。

❖よくあるご質問/教材の問題例❖

Q：小学校に入ると何が変わるのですか？

A：理解する・答えるプロセスがちがいます。

年中～年長時には、「生活力（慣れ）・作業力（手続き能力）」で問題を解けることが多かったかもしれませんが。また、すぐそばで1対1でのアドバイスや補助を得て、進めていくことが習慣化されているかもしれません。

しかし、小学生になると、最初から最後まで自分の力で理解し、新しいことを次々獲得していくことが必要となります。特に、文章・図・問題文を、誰かに読んでもらうということはありません。

①自ら読み解き、与えられた情報・条件を整理する。

②根拠・その先の見通しを考え、論理的に捉える。

③原理・原則・定義を大切にし、試行錯誤・自問自答しながら思考する。

こうしたプロセスを経て、授業の中で様々な学習単元を身につけていきます。そのためには、学習の場において、間違いを恐れてはいけません。間違いを恐れずに学習できる環境を用意してあげることが先決です。

Q：入学前の必要な準備・あらかじめしておく学習は何ですか？

A：多くの先取り・知識より概念・捉え方を養うことが大切です。

6～7歳児のお子様は、実は単純記憶の力がとても発達しています。つまり、意味や目的を知らなくても「方法だけ」を覚えることも可能な年頃です。しかし、この単純記憶の力は学年が上がるにつれ低下し、反対に方法だけ覚えても対処できないことが増えていくのです。

低学年に単純記憶で、「方法だけ」を覚えて正解を積み重ねてきても、9～10歳の頃になると急に「わからない」が増えるのは、意味・目的が必要となってきたとき、それらを理解するための大切な概念・捉え方が育っていないためです。

たとえば、今はまだ大きな数の計算ができなくても、たとえば「この文章題は、 $2+5$ ではなく、 $5+2$ で答えなくてはならない」ということを理解していることの方が、はるかにその後の伸びが違ってきます。

『新小1 アドバンス講座』では、入学前のお子様方に、単純記憶・単純作業ではなく教科の本質理解に根ざした授業を行い、大切な概念・捉え方の育成を始めていきます。

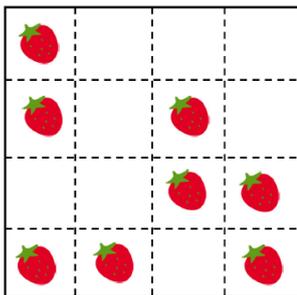
Q：新小1 アドバンス講座では、どんな問題を扱うのですか？

A：ことばを大切に、すぐに答えの出ない問題や試行錯誤問題も扱います。いきなり難しい問題を解くのではなく、易しい問題を理解しながら徐々に取り組んでいきます。

下記に一例を記載します。

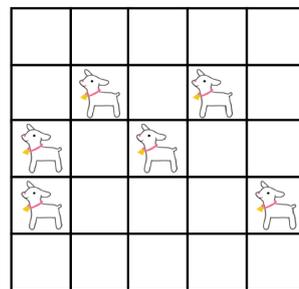
～ 同じ数・形にわけてみよう ～

ケーキの形と大きさが同じで、イチゴの数も同じ数にわける。2つ、または4つにわける。



～ 条件把握並べ方 ～

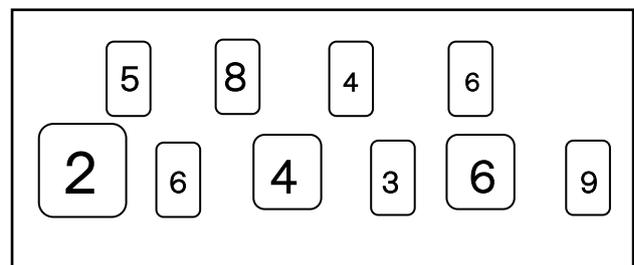
5通の手紙を置くところを探す。たて・横・ななめ各列・行に1通だけ手紙をおく。(ヤギのいる所には置けない)



～ ことばを正しく理解する問題 ～

算数……要素への注意力を養う問題

- ①一番大きいカードは？
- ②一番多いカードは？
- ③一番大きい数のカードは？



国語……言葉の役割を学習しながら、条件を守る力を養う問題

○の中には、「が・を・と・の」のどれかを入れる

- ①おかしをたべたのは、ぼく1人の文に → ぼく○おとうと○おかし○たべた。
- ②おかしをたべたのは、第1人の文に → ぼく○おとうと○おかし○たべた。

お問い合わせは……

(受付 14:00～20:00)

能開センター上本町校 ☎ 06-6770-7007

能開センター堺東校 ☎ 072-222-1805

